

## 第5・6学年 国語（書写）科

### 1 学年の目標

- |   |
|---|
| (1) 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めるとともに、書く速さを意識して書く。 |
| (2) 目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書く。                 |
| (3) 毛筆を使用して、穂先の動きと点画のつながりを意識して書く。                 |

高学年では、中学年までの文字の形を整えて丁寧に書くことに加えて、生活や学習活動において文字を書く様々な場面において、目的に応じた表現が求められる。

### 2 指導の要点

配列・字配り	文字の位置，字間，行間などの効果的な配列や用紙全体の中での文字の大きさと配列に注意して書く。
姿勢・執筆	書く部分の材質や形状，色といった用材の選択に配慮し，目的に応じて，鉛筆，フェルトペン，毛筆，ボールペン，筆ペンなどの筆記具を選んで書く。
用筆・運筆	書く場面によって速さが異なることや穂先の動きを意識し，点画から点画へ，文字から文字へと移動していく過程に重点を置いて書く。

### 3 内容の取り扱い

- (1) 硬筆を使用する書写の指導は各学年で行い、毛筆を使用する書写の指導は第3学年以上の各学年で行う。
- (2) 毛筆を使用する書写の指導は硬筆による書写の能力の基礎を養うように指導し、文字を正しく整えて書くことができるようにする。
- (3) 毛筆を使用する書写の指導に相当する授業時数は、各学年年間30単位時間程度とする。
- (4) 書写で学習したことを、総合的な学習の時間をはじめとして、他教科でのまとめや、日常生活の書写場面の中で生かしていくようにする。

### 4 評価の観点の趣旨

観 点	観 点 の 趣 旨
書写に対する 関心・意欲・態度	書写に対する関心をもち、自己の文字をよりよく書こうとしたり伝え合おうとしたりする。
書写についての 知識・理解・技能	文字の整え方と調和のさせ方を正しく理解し、硬筆・毛筆を使用して、正しい組み立て方で字形を整えて書く。

